

平成31年4月26日(金)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



笑顔が続きますように

校長 上田 祥市

赤紫やピンク色のツツジが次々と花を咲かせ、校歌にもある「街を飾るつつじ」の季節が始まりました。休み時間になると、広い校庭を鬼ごっこしながら走り回る6年生と1年生や4年生杉の子学級、大縄跳びをしている2年生、ドッジボールに夢中の3年生5年生、遊具や芝生では将来のオリンピック選手たちが柔らかい体で様々な技を披露していて、元気な子供たちの笑顔と歓声が学校中に元気エネルギーを満たしてくれています。

暖かな春風と子供たちの笑顔に誘われて、私も校庭をぶらぶらしていると、「校長先生」と声をかけてくれる子供たちに、思わず顔がほころびます。一人の女の子が、「これあげる。」と、小さな手に持ったタンポポを2輪差し出しています。「ありがとうございます。」とお礼を言って、また歩いていると茎の長いタンポポをもった別の子が、「校長先生、これもあげるね。」と言うと、近くにいた子が「髪飾りにするといいよ。」と言ったすぐその後、「しまった」という顔をして私の頭を見えています。私は笑いながら、「飾る髪が無いから、ポッケに挿そうかな。」と言うと、「それ、似合います。」と、ほっと息をつくその顔もまた、素敵なお笑顔です。子供たちの笑顔を見ていると、「ずっとこの笑顔が続きますように」と願わざるを得ません。

最近、全国各地で交通事故が起こり、毎日ニュースが流れるたびに、亡くなった方々のことや、幼い我が子を亡くした親の気持ちを想像して、胸が痛くなります。青信号でちゃんとルールを守って横断歩道を渡っているのに、事故に遭ってしまう。憤りを感じながらも私たちの社会としてこの現実とどう向き合っていくのか、大人の使命と考えます。

先日の防災講座とその後の引き渡し訓練には、多数のご参加をいただき、ありがとうございました。地域の防災についても、「まちづくり昭島」の宮田次朗さんより詳しく説明していただきました。また、大地震の際の学校での対応についてもご理解をいただいたと思います。続いて行われた引き渡し訓練では、大地震発生時の想定で校庭に一次避難してくる子供たちの様子を、静かに、真剣に観ている保護者の方々の姿がありました。参加したお父さんの一人が「学校がこれほど真剣に訓練したり対応したりしてくれているとは知らなかった。親も協力しなくては。」と話してくださいました。皆さんも同じ気持ちだったのでしょうか。引き渡しの際もルール通り行動していただき、混乱なく終えることができました。

つつじが丘小学校では、独自に「地域学校協働本部」を立ち上げ、学校と保護者と地域が『防犯・交通安全』『防災』『人材交流』の三つの柱で協力体制を作っています。地域コーディネーターを「まちづくり昭島」の横山四郎さんに務めていただき、三つの橋渡しをしていただきます。防災講座での宮田さんの話の中で、「大切なことは、挨拶を通い合わず関係」という話がありました。子供たち・教職員・保護者・地域がそれぞれに挨拶を交わし合い、助け合い、補い合い、支え合う関係ができていくと、つつじが丘小学校が、子供たち、そして地域の皆さんの笑顔が、令和の世もいつまでも続く「安心・安全なふるさと」になると考えています。

